

東広島市：次世代のための学園都市型カーボンニュートラル～住みたい、働きたい、学びたいまち、東広島～

脱炭素先行地域の対象：鏡山一丁目、西条下見五丁目、西条下見六丁目、西条下見七丁目、東広島運動公園

主なエネルギー需要家：集合住宅(114棟3,434世帯)、戸建住宅(115軒)、商業施設・オフィスビル(133件)、広島大学東広島キャンパス

共同提案者：広島県、(大)広島大学、東広島スマートエネルギー(株)、(株)広島銀行、広島ガス(株)

取組の全体像

大学移転から30年程度経過した**学生街の既存の集合住宅**及び**戸建住宅**の脱炭素化に取り組む。**集合住宅**には**太陽光・蓄電池を活用したエネマネ**を行いコストメリットを出すことで**高圧・低圧を問わず面的に一括受電システムを導入**するとともに、**戸建住宅**に対しては**リース事業**を首都圏の太陽光サービス事業者と連携して行うことで知見・ノウハウを蓄積し、**地元事業者育成**を行う。また、広島大学内で行うEVを活用したエネマネの取組を当該学生街でも行う等、大学を起点とした取組を展開していく。さらに、地域エネルギー会社、エネルギーサービス事業者、地域金融機関が連携して事業を着実に実施するとともに本取組を契機とした横展開を行う体制を構築する。

1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ① **既存の集合住宅**には、**太陽光発電設備・蓄電池を組み合わせたエネマネ**を実施することで、**高圧・低圧問わず一括受電サービス**を提供。あわせて空調や給湯の更新を行い省エネ化も推進
- ② **戸建住宅**には、太陽光発電設備及び蓄電池の**リースサービス**を地域エネルギー会社、地元事業者、首都圏の太陽光サービス事業者が連携して展開
- ③ 東広島運動公園駐車場等の屋外スペースを活用し、太陽光発電設備(2.7MW)を導入。施設の自家消費電力を賄いつつ、余剰電力は地域エネルギー会社が買電し、下見エリアへ供給
- ④ **広島大学**においては、PPAで**太陽光発電設備(6.6MW)**を導入。あわせて、「国立大学法人等施設整備補助金」を活用し、ZEB化を目標にした省エネ機器の導入を実施



既存の集合住宅

2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

- ① 大学キャンパス内を起点として**EV化を推進**する。市民、学生等を対象としたEVカーシェアによるユーザー体験、EVサブスクサービスによる大学職員のEV乗換を図る。また、当該EVを活用した構内でのエネマネに取り組むと共に、得られた知見を活用し、先行地域内へ展開

3. 取組により期待される主な効果

- ① **既存の集合住宅**を対象とした**一括受電システム導入**の際の**合意形成の手法や効率的な事業執行体制・工法を確立**し、これまで入居者全員との合意形成が必要なことを要因として普及してこなかった**既設の集合住宅**の脱炭素化を推進
- ② 太陽光サービス事業において地元事業者を販売・施工代理店として登用し、**地元事業者の育成**を図る。また、売上の20%程度を当該地元業者に還元するとともに更なる**地域還元が行われるスキームを構築**
- ③ 地域エネルギー会社が新たな電源を確保し、公共施設以外の民生家庭部門へ安価な電力供給を実現し、資金の域内循環を図る
- ④ 広島大学内での実証事業を行うとともに**先行地域内での社会実装**に取り組む。**市がその際に独自の支援策を設け**、地域活性化を推進

4. 主な取組のスケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
		集合住宅の一括受電の導入				
		戸建住宅の再エネ設備の導入				
			再エネ設備の導入 (運動公園)			
		再エネ設備の導入 (広島大学)				
	EV化推進					